



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月29日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5279 URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三輪 武志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部門管掌 総務 人事部 長 (氏名) 山口 芳美

TEL 087-894-8130

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,483	20.9	117		137		81	
2019年3月期第2四半期	4,537	13.1	130		108		89	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 95百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 119百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	28.00	
2019年3月期第2四半期	30.84	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,990	6,492	49.8
2019年3月期	14,678	6,455	43.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,467百万円 2019年3月期 6,430百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	4.3	320	31.3	340	19.2	170	39.7	58.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,064,200 株	2019年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	168,042 株	2019年3月期	167,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,896,191 株	2019年3月期2Q	2,896,232 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が持続しているものの、米中間の貿易摩擦に伴う世界経済の停滞が国内経済にも影響を及ぼしつつあるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、営業部門と各支店に配置の営業推進部が連携の上、役所やコンサルに向けた提案営業を鋭意推進するとともに、民需開拓にも注力し受注獲得に努めてまいりました。また、採算性の向上に向けて、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注にも注力いたしました。加えて、本年5月にベトナムSECOIN社と当社舗装材に係るライセンス契約について基本合意を締結し、東南アジアにおける事業の具現化に向けて取り組んでまいりました。一方、生産部門においては、生産性の向上をより一層推進するとともに、生産子会社ならびに協力会社との連携を強化しながら更なる原価の低減を推し進め、物流の効率化にも取り組むなど、グループ一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、第1四半期に引き続き景観資材事業が好調に推移したことにより、売上高は54億83百万円（前年同期比20.9%増）となりました。一方、利益面では、増収に加え高付加価値製品の拡販が奏功し、営業利益は1億17百万円（前年同四半期は1億30百万円の損失）、経常利益は1億37百万円（前年同四半期は1億8百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円（前年同四半期は89百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

（セグメント別売上高の状況）

区分	期別		前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木資材事業	2,760	60.8	3,014	55.0	3,014	55.0
景観資材事業	1,183	26.1	1,834	33.4	1,834	33.4
エクステリア事業	593	13.1	634	11.6	634	11.6
合計	4,537	100.0	5,483	100.0	5,483	100.0

## （土木資材事業）

昨年発生した西日本豪雨災害の復旧・復興が進むとともに、遅延していた公共工事が進捗したこと、ボックスカルバートや擁壁などが好調に推移したほか、建設現場における人手不足の影響軽減や工期の短縮に向け、現場打ちからプレキャスト化への提案を推し進めた結果、高耐久性埋設型枠SEEDフォームなども売上伸長に寄与したことから、当セグメントの売上高は30億14百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

## （景観資材事業）

多様な顧客ニーズに対応すべく提案営業を推し進めた結果、主力エリアの関東地区における東京オリンピック・パラリンピック関連物件や、近畿・中部地区や西日本地区における物件工事が順調に進捗し、主力のバリアフリータイプを始め、透水・保水タイプや遮熱性に優れた舗装材が大きく売上を伸ばしたほか、ベンチを始めとする特注のファニチュア関連製品なども好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は18億34百万円（前年同期比55.1%増）と、第1四半期に引き続き大幅な増収となりました。

## （エクステリア事業）

新製品の投入や品揃えの強化によりラインナップの拡充を図り、ハウスメーカーへの拡販を推進した結果、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は6億34百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて16億88百万円減少し、129億90百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで、売上債権の受取手形及び売掛金が11億64百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて17億24百万円減少し、64億98百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い、仕入債務の支払手形及び買掛金が4億71百万円減少、ならびに短期借入金が7億21百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて36百万円増加し、64億92百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は49.8%となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金という。」）は、前連結会計年度末に比べ、2億2百万円（17.7%）増加し、13億49百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少、減価償却費などによる資金増加はあったものの、仕入債務の減少やたな卸資産の増加などにより、当第2四半期連結累計期間において営業活動によって得たキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して98百万円減少し、5億19百万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の売却などにより、当第2四半期連結累計期間において投資活動によって得たキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して8億1百万円増加し、7億45百万円となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金の返済や配当金の支払を行ったことなどにより、当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用したキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して4億46百万円増加し、10億62百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、2019年10月25日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,146,777	1,349,243
受取手形及び売掛金	4,219,316	3,054,345
電子記録債権	749,784	527,434
商品及び製品	1,060,574	1,215,836
仕掛品	117,511	122,381
未成工事支出金	8,647	11,545
原材料及び貯蔵品	223,027	302,758
その他	40,182	49,022
貸倒引当金	△4,790	△2,540
流動資産合計	7,561,032	6,630,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,021,742	973,252
土地	4,395,431	3,594,791
その他(純額)	737,568	831,891
有形固定資産合計	6,154,742	5,399,936
無形固定資産	191,386	187,134
投資その他の資産		
投資有価証券	503,408	527,751
退職給付に係る資産	64,770	84,673
繰延税金資産	126,533	85,763
その他	87,306	86,115
貸倒引当金	△10,707	△10,971
投資その他の資産合計	771,310	773,332
固定資産合計	7,117,440	6,360,402
資産合計	14,678,472	12,990,429
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,889,822	1,418,290
電子記録債務	901,592	628,270
短期借入金	3,384,395	2,662,703
未払法人税等	71,147	33,139
未払消費税等	94,153	36,085
未払費用	177,430	131,074
賞与引当金	116,349	144,380
役員賞与引当金	7,456	—
その他	349,414	402,784
流動負債合計	6,991,761	5,456,728
固定負債		
長期借入金	1,039,723	813,467
その他	191,264	227,972
固定負債合計	1,230,987	1,041,439
負債合計	8,222,748	6,498,167

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	2,016,609	2,016,611
利益剰余金	2,299,215	2,322,381
自己株式	△90,964	△91,008
株主資本合計	6,244,660	6,267,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,722	169,648
退職給付に係る調整累計額	33,066	29,660
その他の包括利益累計額合計	185,788	199,309
非支配株主持分	25,274	25,167
純資産合計	6,455,723	6,492,261
負債純資産合計	14,678,472	12,990,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,537,346	5,483,885
売上原価	3,711,436	4,397,229
売上総利益	825,910	1,086,656
販売費及び一般管理費	956,414	968,889
営業利益又は営業損失(△)	△130,504	117,766
営業外収益		
受取配当金	7,152	7,692
受取賃貸料	12,480	9,201
工業所有権実施許諾料	1,986	2,059
物品売却益	9,334	4,345
雑収入	5,951	9,262
営業外収益合計	36,906	32,561
営業外費用		
支払利息	10,270	8,120
賃貸費用	2,557	2,885
雑損失	1,854	2,130
営業外費用合計	14,683	13,137
経常利益又は経常損失(△)	△108,281	137,190
特別利益		
国庫補助金	1,500	—
特別利益合計	1,500	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2,032
固定資産除却損	5,508	146
固定資産圧縮損	1,500	—
特別損失合計	7,008	2,179
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,790	135,011
法人税、住民税及び事業税	16,187	17,743
法人税等調整額	△40,985	34,844
法人税等合計	△24,798	52,588
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,992	82,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	332	1,333
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,324	81,090



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,992	82,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,457	16,925
退職給付に係る調整額	△5,458	△3,405
その他の包括利益合計	△30,915	13,520
四半期包括利益	△119,907	95,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120,240	94,610
非支配株主に係る四半期包括利益	332	1,333

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,790	135,011
減価償却費	157,882	153,777
有形固定資産売却損益(△は益)	—	2,032
有形固定資産除却損	5,508	146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,130	△1,986
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,798	28,030
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,068	△7,456
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△28,193	△24,800
受取利息及び受取配当金	△7,297	△7,789
支払利息	10,270	8,120
売上債権の増減額(△は増加)	2,035,249	1,387,321
たな卸資産の増減額(△は増加)	△283,661	△242,760
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,042,184	△744,854
未払消費税等の増減額(△は減少)	△71,542	△58,068
その他の資産の増減額(△は増加)	△9,666	△12,235
その他の負債の増減額(△は減少)	9,091	△43,355
その他	△6	—
小計	662,521	571,134
利息及び配当金の受取額	7,272	7,764
利息の支払額	△10,112	△7,704
法人税等の支払額	△41,970	△51,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	617,710	519,603
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△46,266	△66,906
有形固定資産の除却による支出	△4,436	△146
有形固定資産の売却による収入	10	817,125
無形固定資産の取得による支出	△6,727	△6,647
貸付金の回収による収入	2,500	3,000
その他	△1,873	△1,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,793	745,189
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△280,000	△700,000
長期借入金の返済による支出	△221,508	△247,948
自己株式の売却による収入	—	13
自己株式の取得による支出	—	△55
配当金の支払額	△57,745	△57,922
非支配株主への配当金の支払額	△1,560	△1,440
リース債務の返済による支出	△55,314	△54,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616,128	△1,062,327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,211	202,465
現金及び現金同等物の期首残高	1,111,714	1,146,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,056,503	1,349,243

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。